

先輩職員の声（2019年採用者）

※所属はインタビュー時点のものです。



Y・S

技術（都市建設）
[2019年採用]



N・M

技術（電気）
[2019年採用]



T・Y

技術（化学）
[2019年採用]



Y・N

事務行政
[2019年採用]

大規模事業に携われることが大きな魅力



Y・S

工務部 工務課 幹線設計担当

[2019年大学卒程度技術(都市建設)採用]

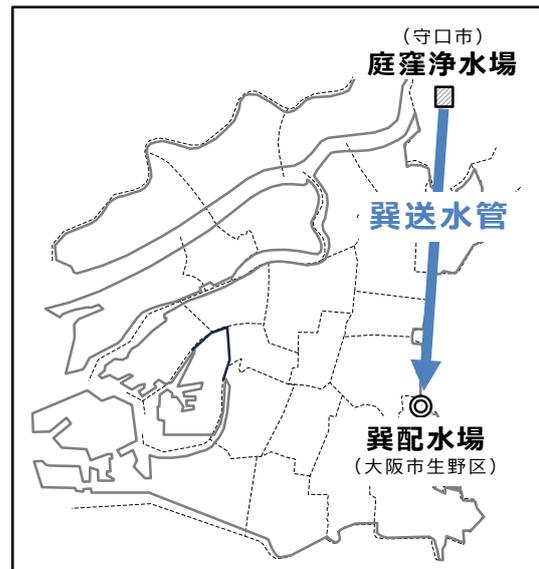
大口径水道管工事の設計業務を担当。1年目から、当局の大規模事業である異送水管改良工事に従事している。2年目を迎えた今年、更なる飛躍をめざし、日々奮闘している。

1年目から担当させてもらった超大規模事業

大阪市水道局は事業規模が大きく、大規模な工事をたくさんしています。私は1年目から、庭窪浄水場(守口市)から異配水場(生野区)を繋ぐ口径1,500mmの異送水管の一部区間約6kmを耐震管に取替える工事の第1期(約2km、4年工期)を前任者から引継ぎました。この工事は、内管挿入工法を用いて施工するものです。

大きな仕事をやってみたいと思っていた私にとっては、大規模事業に従事できることは、とてもありがたかったです。でも、最初は図面や積算方法を理解することに苦労しました。先輩や上司に教えてもらいながら、自分でも可能な限り調べ、前に進めましたが、理解にかなりの時間を要しました。

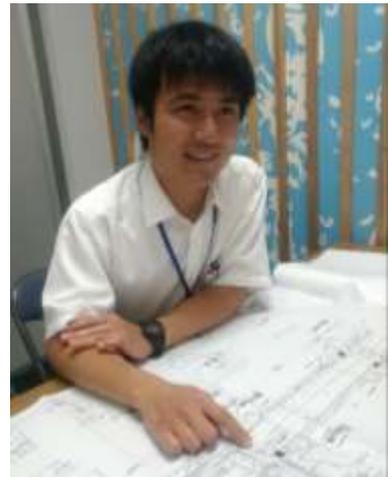
さらに、年度末の契約変更は、積算方法の検討や現場との調整など、とても大変でした。けっこうな作業量でしたが、出来るだけ自分主導で対応し、先輩や上司にも助けをもらって乗り切ることができました。その時は、安堵ともにやれたという達成感と少しは成長できたのかなと感じました。



大規模事業は大阪市水道局ならではの、それは技術職にとってのやりがい

大阪市水道局では、土木工事だけではなく、機械設備や建築設備などでも大規模な事業を行っています。また、土木工事も水道管工事だけではなく、浄水場などの土木構造物の工事も行っています。

他の市町村では、これだけ大きな事業に関わる機会はありません。1年目でも担当できるチャンスがありますし、自分で考えて事業を進めることもできます。大きな仕事へのチャレンジは、技術職である私にとってのやりがいであり、喜びでもあります。



想像以上の緻密な仕事と知識の深さに驚かされて

入庁して驚いたことは、1つひとつの仕事が緻密で、必要性や理由をしっかりと説明できるようにしなければなりません。実を言うと、もっとザックリだと思っていました。最初は戸惑いましたが、お客さまから頂戴した水道料金を無駄に出来ないため、説明責任を果たすことが求められます。

また、周りの先輩たちは、質問をすると根拠とともに答えが返ってきて、その知識の深さにも驚きました。今はまだまだですが、私も色々な課を経験して、知識を深めていきたいし、監督経験も必要だと感じています。資格取得も頑張りたくて、技術士の水道部門を取得することを目標に置いています。先輩たちのように、何事も責任を持って自分の言葉で説明できるよう、今後も精一杯頑張っていきます。

☆ ある日の仕事の流れ

9:00	始業、メール確認・返信、図面チェック
10:00	河川事務所へ出張（新規案件の打ち合わせ）
12:15	昼休憩
13:00	帰庁後関係部署との打合せ
14:00	積算業務、設計コンサルティング業者との打合せ
17:30	終業

大阪市水道局でもっと学んでみたいと感じて



N・M

工務部 柴島浄水場 技術調査担当

[2019年 大学卒程度技術(電気)採用]

以前は、他都市の水道部局に勤務していたが、大阪市水道局の技術研修に参加し、その規模・技術に魅せられ、さらなる成長をめざして、本市に入庁した。

たまたま受けた大阪市水道局の技術研修が人生の転機

もともと、他都市の水道部局で浄水場の運転管理の仕事をしていました。その時に、大阪市水道局が実施する3日間の技術研修に参加させてもらい、大阪市の規模の大きさなどに驚きました。柴島浄水場だけでも浄水能力は1日100万トンを超えているし、高度浄水における2段階のオゾン処理や停電時のリスク対策等の講義を受け、大阪市の技術力の高さを感じました。研修を終えて、ここ(大阪市水道局)でもっと学んでみたいと感じ、ここをめざすことにしました。

毎日足を運んだ実験現場、作り上げた調査報告書、その結果・・・

無事に大阪市へ入庁でき、柴島浄水場で新技術の調査担当に配属されました。水道局には、最適先端処理技術実験施設があり、その施設を利用し、南海トラフ巨大地震を想定して、機能停止が想定される古い浄水施設を迂回する緊急浄水処理に関する調査を1年目から行っています。

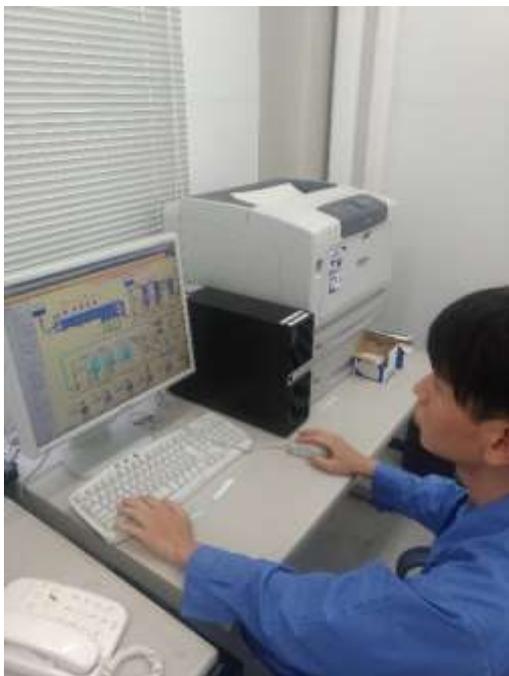


現場を管理している職員から「実験現場には出来るだけ来ること、現場を知っておかないと調査研究の最短距離を走れないよ」と教わりました。実験施設と実際の池で異なる部分もあり、可能な限り現場に出向きました。そして、上司や先輩に助けをもらいながら、1年間の調査研究の結果を報告書にまとめ、この緊急浄水処理の効果を実証できたので、実際の池での導入に向けて動き出しました。

次なる調査研究に向けて

2年目の今年は、昨年の調査研究で一部課題となっている低水温期の対策の検討をしています。さらに、次の調査研究に向けて、実験施設の改造工事の発注に関する仕事をしています。1つの研究が終われば、また次の研究へと移っていきます。常に、効果的な浄水処理を模索する姿勢は、素直に凄いと思います。

また、ここでは、専門外のこともよく知っている先輩・上司がいて、尊敬しますし自分もいつかそうなりたいと思います。今は調査研究を頑張っていますが、運転管理の経験もあるし、次は設計業務にも携わってみたいです。色々な業務を経験し、知識を増やしていきたいと思います。



☆ ある日の仕事の流れ

9:45 始業、メール確認、前日分の報告書作成、実験方法の検討

12:15 昼休憩

13:00 実験施設でデータ取り、現場職員と実験方法の調整

15:00 データ整理、実験方法の検討、資料作成

18:15 終業

自分の仕事で誰かの役に立てる喜び



T・Y

工務部 水質試験所 水質検査担当
[2019年 大学卒程度技術(化学)採用]

民間企業で半導体分析の仕事をしていたが、もっと誰かの役に立ちたいという思いから入庁。充実した設備や高い分析技術力に、刺激を受けながら業務に邁進している。

どこにも負けない充実した設備環境と高い分析技術

水道局へ入庁する前は、企業から依頼を受けて、半導体の分析を行う仕事に就いていました。でも、自分が行った分析がどう使われるか分からず、「何のために仕事しているのか。もっと人の役に立つ仕事をしたい」と思うようになりました。そこで、自前で水質検査を行っている大阪市をめざしました。

機器の多さや分析技術の高さは、予想はしていましたが、それでも驚きました。最初は覚える事が多くて大変で、慣れるまで半年程度かかったかもしれません。ここは、間違いなく関西圏でトップクラスだし、ここで通用すれば何処に行っても通用すると感じています。



保有する主な精密分析機器	台数
誘導結合プラズマ質量分析計	3
ガスクロマトグラフ質量分析計	4
バージ・トラップガスクロマトグラフ質量分析計	1
ヘッド・スペースガスクロマトグラフ質量分析計	5
液体クロマトグラフ質量分析計	5
原子吸光光度計	3
水銀メータ	3
ガスクロマトグラフ	1
高速液体クロマトグラフ	2
ポストカラム高速液体クロマトグラフ	1
ポストカラムイオンクロマトグラフ	5
全有機炭素計	3
全有機ハロゲン分析計	2
走査型電子顕微鏡	1
落射蛍光顕微鏡	3
A T P 計	1
赤外分光光度計	1
P C R 装置	2
全自動固相抽出装置	8
重窒素計	1
マイクロプレートリーダー	1

「水」は重要なライフライン、その安全を守るという強い使命感を持って

「水」は、市民生活には欠かせない重要なライフラインです。市民に安心して生活してもらえるよう、「水」の安全を守ることが、私たちの責任であり使命です。

そのため、多くの自治体が水質検査を外部委託する中、大阪市では法定 51 項目を含め 200 を超える項目の検査を行っています。私の行った検査結果はホームページで公表され、市民の安心につながっている、誰かの役に立っていると実感できるし、喜び・やりがいを感じます。



また、コロナ禍にあっても、水質検査は欠かすことができないもので、先輩・上司が当たり前のように出勤し、検査している姿にその責任感や使命感を肌で感じました。

ゆくゆくは研究にも力を入れて、さらに人々の役に立ちたい

水質試験所では、日々の水質検査はもちろん、新たな分析手法の研究にも力をいれています。多くの設備を有する大阪市だから出来ることだと思います。私自身も、小さすぎて検査できない異物を検査できる手法がないか研究しています。他都市・関連事業者の前で研究発表する機会もありますので、自分の確立した分析手法が広がって、より多くの人々の役に立てる日が来るよう、研究も頑張っていきたいです。

☆ ある日の仕事の流れ

9:00	始業、メール確認・返信、浄水場内の採水→検査（毎日項目）
11:00	午後からの大型分析機器を用いた検査のための準備
12:15	昼休憩
13:00	月1回や週1回の検査項目の検査開始
15:00	報告書の作成、業者からの作業報告内容の確認
17:30	終業

積み上げた量が私にとっての成長の証し



Y・N

総務部 管財課 契約担当

[2019年 事務行政(26-34)採用]

物品調達に従事。1年目は一般的な事務用品や印刷関係を担当、2年目となる今年度からは、水道メーターや理化学機器など水道局特有の物品調達を任されている。

先輩・上司に恵まれた働きやすい職場に支えられ

契約担当に配属され、物品調達を担当することになりました。1年目ということもあり、一般的な事務用品や印刷製品を任せられましたが、仕事を覚えるまで必死でした。

幸いなことに、優しい先輩や上司ばかりで、困った時はすぐに助けてくれました。職場には、男性だけではなく女性もけっこういますし、みんな話しやすいし相談もしやすい雰囲気なので、とてもありがたかったです。

当たり年と言われた1年目

仕事に慣れるよう毎日頑張っていました。実は2019年は例年になく大変な事務が発生し、みんなには冗談まじりに「当たり年に契約担当に来たね」なんて言われました。

5月には元号改正への対応がありました。まだ仕事を覚えている時だったので、何がなんだか分からないまま、先輩に助けられながらなんとかこなした感じです。

10月には、消費税改正に伴う契約変更があり、水道局ではたくさんの契約があって、その量に圧倒されました。とても大変でしたが、例年の新規採用者では経験できない事で、貴重な経験となりました。



先輩からもらった「1年目なのに、やりきったね!」の言葉

年度末が近づくとつれて徐々に仕事量も増えて、2・3月は凄かったです。毎日、10件以上処理して、業者さん対応もして、1日があっという間に過ぎていきました。

先輩の力も借りながら、1年間を過ごしましたが、ある日先輩から「この1年は、改元とか消費税改正や年度末も乗り切って、1年目なのに本当によくやりきったね!」という言葉をかけてもらいました。それがとても嬉しくて、この1年の頑張りを見てくれた、認めてくれたと感じました。改めて自分が担当した案件量を振り返ってみると、けっこうな量が積み上がっていて、この量だけ成長できたんだと感じました。

2年目の今年は、水道局特有の水道メーターや理化学機器の調達を任せてもらっています。少しずつ視野を広げていって、今度は私が後輩を助けてあげられるよう頑張っていきたいです。



☆ ある日の仕事の流れ

9:00	始業、メール確認・返信、(入札の)業者決定準備
10:00	(入札の)決定業者への連絡、仕様書確認、来庁業者対応
12:15	昼休憩
13:00	仕様書確認、関係部署との打合せ、来庁業者対応
16:30	電子調達システムへ案件登録作業
17:30	終業